登尾鉄工株式会社

四国を代表する鉄骨製造・加工メーカーとして、大型建造物の実績多数
洋上風力発電の作業を行う建屋建造に可能性

想定分野　設置 ❯ 鉄骨製造・組立治具

高耐震、耐錆性など付加価値を高めた建築鉄骨を製造

1962年の創業以来、大型建造物の鉄骨加工を行う登尾鉄工株式会社。**建築鉄骨（H型鋼）の製作と現場組み立てを主力事業としており、県内で初めて国土交通省大臣認定のHグレード認定工場となるなど、四国を代表する鉄骨製造・加工メーカー**として知られる。松山空港、坊ちゃんスタジアム、高層マンション、庁舎、病院、商業施設など、県内外での多様な大型建築物の実績を持つ。長年のノウハウと製作能力の高さで、大手ゼネコンの要望に応え続けている。東日本大震災以降、全国的に国土強靭化が進められるなか、耐震施工や高度な技術を要する免震構造の物件にも積極的に取り組んでおり、年間の建築鉄骨生産能力は県内トップクラスの10000トンを誇る。公共岸壁へのアクセスも良く、大型鉄骨の海上輸送に対応可能。臨海地域の物流倉庫や造船建屋の鉄骨製造実績があり、洋上風力発電の岸壁作業における建屋建造などに可能性がある。

製造サイズ：H型鋼の場合、梁背1m、長さ12m。1ピース最大20t　生産能力：800t /月

採用実績・施工例

鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）の病院や庁舎

鉄骨造と鉄筋コンクリート造のハイブリッド工法であるSRC造で建築した病院の鉄骨を担当。鉄骨の耐震性と、鉄筋コンクリートの耐火性をミックスした高性能な建築。SRC工法に対応できる鉄骨製造・加工メーカーは数少なく、同社は大手ゼネコンからの信頼も厚い。

耐錆性を高めた造船建屋の建築鉄骨

愛媛が世界に誇る造船業にも、登尾鉄工の技術が活かされている。熟練の施工技術で強固な骨組みを形にし、作業性が向上する大空間を実現。錆を防止するための溶融亜鉛メッキ工法にも対応している。また、3軸ドリルマシンなどで穴あけなどの鉄骨加工も可能。

主要設備機械

- NCオートドリルマシーン（H形鋼穴あけ加工機）：2台
- 大組立溶接ロボット：2台
- ショットブラスト：1台
- 形鋼切断用バンドソー：切断幅最大1000㎜ほか／3台
- ビームワーカー：1台
- プラズマ切断機：1台
- 天井クレーン：10t 5台、5t 1台、2.8t 11台

会社情報

事業内容／鉄骨建築及び各種鉄鋼構造物の加工、組立
所在地／〒792-0893 愛媛県新居浜市多喜浜6-3-21
設立／1962年　資本金／2,000万円
従業員／40名（2024年11月現在）
代表者／代表取締役社長　登尾 昌弘　TEL／0897-45-4588
事務所／新居浜市
首都圏担当／常務取締役　登尾 泰平　TEL／0897-45-4588
E-mail／info@noborio.co.jp
URL／https://www.noborio.co.jp